

## 第3章

# 〔政策〕3 多くの県民や市民が訪れ、身近に感じられる港づくり

〔施策〕	〔基本事業〕	〔ページ〕
3-1 魅力と親しみある港づくり の推進 (32 ページ)	3-1-1 魅力ある港空間の充実	33
	3-1-2 港とふれあう機会の拡大	35
	3-1-3 港イメージ向上の推進	36
3-2 環境に配慮した港湾運営の 推進 (38 ページ)	3-2-1 環境保全活動の推進	39
	3-2-2 地域環境保全への貢献	41

## 施策 3-1 魅力と親しみある港づくりの推進

(主担当：総務部)

目的	対象	四日市港という港が	
	意図	多くの県民・市民に、魅力的で親しみを感じられる港と認識されている	
施策目標項目	四日市港の親しまれる港づくりにかかる満足度	目標値 (2006年度)	100%
		現状値 (2003年度)	57%

〔施策目標項目の説明〕

- ・県民・市民へのアンケート調査における、四日市港の親しまれる港づくりにかかる満足度（「満足」または「やや満足」と回答した割合）

### 現状と課題

多くの県民・市民のみなさんに四日市港という港を身近なものと感じていただくには、より多くの方に四日市港を訪れていただき、港に触れ、理解していただくことが必要です。

より多くの方に港を訪れていただくためには、四日市港という港をより魅力のある場所にしていくことが必要であり、それには、県民・市民のみなさんとの協働の取組において、訪れていただく方のニーズをしっかりと踏まえた港づくりを進めていくことが必要となっています。

### 施策の取組方向

親しまれる港づくりにかかる取組が、港湾物流の機能に支障をきたさないよう、そのエリア的な住み分けについて整理するなど、県民・市民のみなさんのニーズをしっかりと踏まえた親しまれる港づくりの考え方や手法について再確認し、県民・市民のみなさんとの協働の中で、より魅力のある港の空間を創造していきます。

また、県民・市民のみなさんが、そこで憩い、くつろげる緑地・公園といった快適な水辺空間の提供とともに、県民・市民のみなさんが集い、楽しみ、交流できるようなイベントの開催など、四日市港に触れていただく様々な場所や機会も、四日市港として積極的に拡大させていきます。

さらに、四日市港の付加価値を高めるための取組を実施するとともに、四日市港が物流面において地域にもたらしている経済効果など様々な港の効果についても、港をより身近なものと感じていただくための情報として積極的にアピールし、四日市港のイメージの向上に取り組んでいきます。

<b>基本事業</b> 3-1-1		<b>魅力ある港空間の充実</b>	
<b>目的</b>	<b>対象</b>	四日市港に親しんでいただくための空間が	
	<b>意図</b>	県民・市民にとって、より魅力のあるものとなっている	
<b>基本事業の 数値目標</b>	親しみ空間にかかる満足度	<b>目標値</b> (2006年度)	100%
		<b>現状値</b> (2003年度)	%

〔基本事業目標項目の説明〕

- ・県民・市民へのアンケート調査における、四日市港の緑地や公園など親しんでいただくための空間にかかる満足度（「満足」または「やや満足」と回答した割合）

**事務事業(取組)の概要**

<b>3010101 親しみ空間の充実</b>			
<b>事務事業の 目的</b> (対象と意図)	四日市港における港に親しんでいただくための空間が、県民・市民のニーズを的確に把握するとともに、それらを十分考慮することで、より人々が親しみやすい快適なものとなっているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>親しみ空間の構想作成数</b>  ・港に親しんでいただくための空間についてその構想や考え方を整理できた件数の累計	<b>目標値</b> (2006年度)	1 件
		<b>現状値</b> (2003年度)	
<b>3010102 緑地の整備</b>			
<b>事務事業の 目的</b> (対象と意図)	四日市港管理組合が整備する四日市港の公園・緑地が、県民・市民が憩い、楽しめる親水性を有した港湾緑地など、人々が親しみやすい快適な水辺空間を形成するとともに、環境保全の面においても良好な港湾環境の実現に資するものとして、適正に整備されているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>四日市港における緑化率</b>  ・臨港地区から民間企業が管理する工場敷地等を除いた区域における緑地の割合。目標値は港湾計画に位置付けている緑地 59.1ha が全て完成した時点を 15%とした場合の 2006 年度の値	<b>目標値</b> (2006年度)	10.5 %
		<b>現状値</b> (2003年度)	7.1 %

3010103 緑地の維持管理			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港管理組合が管理する四日市港の公園・緑地が、四日市港を訪れる人々や、四日市港で働く人々が居心地良く感じる空間であるとともに、港湾環境の保全に資するものとして、適正かつ効率的に維持されているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	緑地の維持管理にかかる苦情件数	目標値 (2006年度)	0 件
		現状値 (2003年度)	2 件
3010104 親しみアクセスの充実			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港における親しんでいただくためのエリアへのアクセスが、エリア間のネットワークの確立とその案内や、港外からの最適なアクセス経路についても適切に案内し周知することなどによって、利用者にとってわかりやすく、スムーズにアクセスできるものとなっているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	親しみアクセスにかかる改善項目数  ・港に親しんでいただくためのエリアへのアクセスに関して改善した項目の累計	目標値 (2006年度)	8 件
		現状値 (2003年度)	
3010105 ポートビル有効利用の推進			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港ポートビルが、展望展示室などの各種施設について利用利便の向上やリニューアルを図るとともに、四日市港の象徴としてビル自体の利活用についても検討するなど、魅力ある施設として十分に活用できているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	展望展示室の入場者数  ・ポートビル 14 階展望展示室「うみてらす 14」への年間の延べ入場者数	目標値 (2006年度)	36,400 人
		現状値 (2003年度)	36,104 人

<b>基本事業</b> 3-1-2		<b>港とふれあう機会の拡大</b>	
<b>目的</b>	<b>対象</b>	県民・市民にとっての四日市港とのふれあいが	
	<b>意図</b>	より多くの機会において実現している	
<b>基本事業の 数値目標</b>	港での諸活動への参加者の総数	<b>目標値</b> (2006年度)	13,000人
		<b>現状値</b> (2003年度)	12,400人

〔基本事業目標項目の説明〕

- ・イベントなど四日市港で行われる諸活動への参加者の総数。目標値の13,000人は毎年度200人程度を増やしていくことを目標とした2006年度の値

**事務事業(取組)の概要**

<b>3010201 各種イベントの開催</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	四日市港で開催されるイベントが、四日市港管理組合起点で企画・開催するイベントだけではなく、県民・市民との協働によるイベントの企画・開催などに積極的に取り組むことで、県民・市民にとってより魅力ある形で催されているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>イベント参加者の満足度</b>  ・イベント参加者へのアンケート調査における、イベントにかかる満足度(「満足」または「やや満足」と回答した割合)	<b>目標値</b> (2006年度)	100%
		<b>現状値</b> (2003年度)	70%
<b>3010202 港サポーターの充実</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	四日市港における親しんでいただくための取組への支援者が、四日市港の親しまれる港づくりのパートナーとして、様々な取組に積極的に参画できる環境を整えるなど、港として働きかけを行うことで、その人数が増加し、より活発に活動していただいているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>港サポーターの数</b>  ・四日市港の親しまれる港づくりのための諸活動を支援いただく方の人数	<b>目標値</b> (2006年度)	23人
		<b>現状値</b> (2003年度)	13人

3010203 集客情報発信の推進			
事務事業の目的 (対象と意図)	四日市港の集客にかかる情報が、既存の情報発信方法について、その効果をより高めるための見直しを実施するとともに、新たな発想による情報発信の方法を構築するなど、より効果的な情報発信を実現することで、より多くの県民・市民に対して発信され、伝わっているという状態にします。		
事務事業の数値目標	集客情報の発信にかかる手段の数 ・集客にかかる情報を発信している手段の数	目標値 (2006年度)	19件
		現状値 (2003年度)	13件
3010204 県民・市民活動への支援			
事務事業の目的 (対象と意図)	県民・市民主体の様々な活動が、活動の場の提供をはじめ、四日市港管理組合としてできる様々な支援を積極的に行うことで、四日市港やその周辺で行われているという状態にします。		
事務事業の数値目標	県民・市民活動への支援件数 ・県民・市民活動に対して支援した年間の件数	目標値 (2006年度)	6件
		現状値 (2003年度)	0件

基本事業 3-1-3		港イメージ向上の推進	
目的	対象	四日市港のイメージが	
	意図	県民・市民にとって、より親しみを感じるものとなっている	
基本事業の数値目標	四日市港のイメージにかかる好感度	目標値 (2006年度)	%
		現状値 (2003年度)	%

[基本事業目標項目の説明]

・県民・市民へのアンケート調査における、四日市港のイメージにかかる好感度(「良い」または「やや良い」と回答した割合)。<現状値は今後調査し把握する予定であり目標値も未定>

**事務事業(取組)の概要**

3010301 港効果への理解促進			
事務事業の目的 (対象と意図)	経済効果など四日市港が港として地域にもたらす効果が、それら効果を定期的に把握するとともに、様々な機会をとらえた情報発信など積極的なPRに努めることで、四日市港のイメージの向上に資するものとして、県民・市民に広く理解されているという状態にします。		
事務事業の数値目標	港の効果にかかる情報発信件数 ・港の効果について情報発信した年間の件数	目標値 (2006年度)	7 件
		現状値 (2003年度)	1 件
3010302 シスターポート交流の推進			
事務事業の目的 (対象と意図)	四日市港とオーストラリアシドニー港との友好関係が、現在行っている交流事業の内容を深めていくとともに、新たなコミュニケーションの機会を創出するなど、四日市港のイメージ向上の取組として、より深まっているという状態にします。		
事務事業の数値目標	交流事業の実施数 ・交流事業を実施した年間の回数	目標値 (2006年度)	2 回
		現状値 (2003年度)	1 回
3010303 客船寄港の推進			
事務事業の目的 (対象と意図)	四日市港における客船等の寄港が、寄港するための施設など、受け入れ体制を整えるとともに、官民協働の体制により客船等の寄港誘致活動を実施することで、より多く実現しているという状態にします。		
事務事業の数値目標	客船等の寄港数 ・四日市港に客船等が寄港した年間の回数	目標値 (2006年度)	3 回
		現状値 (2003年度)	1 回
3010304 港景観向上の推進			
事務事業の目的 (対象と意図)	四日市港における景観が、港湾関係企業等との協働により、四日市港の景観に計画的な演出を加えることで、より個性的で魅力的なものになっているという状態にします。		
事務事業の数値目標	四日市港色彩計画への協力要請企業数 ・四日市港色彩計画に基づいて施設の色彩を変更していただくよう1年間に要請できた企業の数	目標値 (2006年度)	30 社
		現状値 (2003年度)	8 社

## 施策 3-2 環境に配慮した港湾運営の推進

(主担当：整備部)

目的	対象	四日市港の港湾運営における環境への配慮が		
	意図	四日市港が果たすべき社会的責任の一つとして、高いレベルで実践されている		
施策目標項目	四日市港の環境にかかる満足度	目標値 (2006年度)	%	
		現状値 (2003年度)	%	

[ 施策目標項目の説明 ]

- ・県民・市民へのアンケート調査における、四日市港の管理区域の環境にかかる満足度(「満足」または「やや満足」と回答した割合) < 現状値は今後調査し把握する予定であり目標値も未定 >

### 現状と課題

資源循環型社会の構築、大気環境・水環境の保全、地球規模で進行する温暖化の抑止が社会的な課題となっており、四日市港も一つの活動主体として、港湾運営における環境への配慮が求められています。

さらに、これらの社会的な要請に加え、港湾の環境の改善などにより常にきれいな港の状態を維持していくことは、四日市港が県民や市民にとって身近に感じられる港であるための大きな要素でもあります。

また、四日市港の背後地域における環境保全への貢献については、廃棄物処理場の確保や静脈物流の推進など、物流拠点としての港湾の機能面でも、しっかりと貢献していくことが求められています。

### 施策の取組方向

きれいで安全な港をめざし、四日市港における水質調査や埋立地の環境影響評価の実施とともに、水域及び陸域の港湾施設の清掃、ゴミ収集・処分を行い、港湾運営における社会的責任として港湾環境の保全に努めます。

また、四日市港管理組合の地球温暖化対策実行計画について進めることで、四日市港管理組合の活動における温室効果ガスの排出抑制に努めます。

なお、背後地域の環境保全への貢献としては、埋立事業における産業廃棄物等の受け入れを進めるとともに、廃棄物やリサイクル資源を取扱う「静脈物流」について一層推進していきます。

<b>基本事業 3-2-1</b>		<b>環境保全活動の推進</b>	
<b>目的</b>	<b>対象</b>	四日市港における環境保全の取組が	
	<b>意図</b>	適正に実施されている	
<b>基本事業の 数値目標</b>	四日市港の水域における COD の平均値	<b>目標値 (2006年度)</b>	3.5 mg/L以下
		<b>現状値 (2003年度)</b>	3.5 mg/L

〔基本事業目標項目の説明〕

- ・四日市港周辺の海域における水質調査ポイントの5地点における有機汚濁の代表的な水質指標「COD」(化学的酸素要求量)の平均値(モニター指標)。目標値としては現状のレベル 3.5mg/L 以下(悪化させないこと)をめざします

**事務事業(取組)の概要**

<b>3020101 環境調査の推進</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	水質をはじめとする四日市港の港湾環境にかかるデータが、水質調査等の定期的な実施により、良好な港湾環境を維持するための港湾施策に資するものとして、適正に把握されているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>環境調査の適正実施率</b>  ・水質調査をはじめとする各種環境調査における適正に実施できた割合	<b>目標値 (2006年度)</b>	100%
		<b>現状値 (2003年度)</b>	100%
<b>3020102 環境保全対策の推進</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	水環境をはじめとする四日市港の港湾環境にかかる保全対策が、港湾環境の改善又は維持に向けて、関係機関との連携の中、着実に実施されているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>関係機関との連携取組項目数</b>  ・関係機関(三重県・四日市市)との連携により、1年間で取り組んだ環境改善にかかる諸対策の項目数	<b>目標値 (2006年度)</b>	2件
		<b>現状値 (2003年度)</b>	1件
<b>3020103 清港活動の推進</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	四日市港の港湾施設の状況が、清港活動とその活動を通じた環境に対する啓発を行うことで、ゴミをできる限り少なくし、きれいで安全に維持されているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>港内清掃活動の実施率</b>  ・年間の平日の日数のうち港内清掃活動を実施した日数の割合	<b>目標値 (2006年度)</b>	100%
		<b>現状値 (2003年度)</b>	100%

3020104 地球温暖化対策実行計画の推進			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港管理組合の実施する事務及び事業活動により排出される温室効果ガスが、「四日市港管理組合地球温暖化対策実行計画」に基づく取組など、温室効果ガスの排出抑制のための諸施策の実施により、2000年度の基準排出量以下となっているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	温室効果ガス排出量  ・四日市港管理組合の活動における温室効果ガス(二酸化炭素換算値)の排出量	目標値 (2006年度)	1,563 トン
		現状値 (2000年度)	1,590 トン
3010102 緑地の整備(再掲)			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港管理組合が整備する四日市港の公園・緑地が、県民・市民が憩い、楽しめる親水性を有した港湾緑地など、人々が親しみやすい快適な水辺空間を形成するとともに、環境保全の面においても良好な港湾環境の実現に資するものとして、適正に整備されているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	四日市港における緑化率  ・臨港地区から民間企業が管理する工場敷地等を除いた区域における緑地の割合。目標値は港湾計画に位置付けている緑地 59.1ha が全て完成した時を 15%とした場合の 2006 年度の値	目標値 (2006年度)	10.5 %
		現状値 (2003年度)	7.1 %
3010103 緑地の維持管理(再掲)			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港管理組合が管理する四日市港の公園・緑地が、四日市港を訪れる人々や、四日市港で働く人々が居心地良く感じる空間であるとともに、港湾環境の保全に資するものとして、適正かつ効率的に維持されているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	緑地の維持管理にかかる苦情件数	目標値 (2006年度)	0 件
		現状値 (2003年度)	2 件
1010302 巡視船「かもめ」の運営(再掲)			
事務事業の 目的 (対象と意図)	四日市港の航路・泊地・岸壁・海岸保全施設など水域の施設にかかる異常発見時の関係情報の提供や軽微な異常への対応が、巡視船「かもめ」を適正に運営し、巡視することにより、適正に実施されているという状態にします。		
事務事業の 数値目標	「かもめ」自体に起因する出動不可事態の件数  ・「かもめ」の運航自体が原因で出動できなかった年間の件数	目標値 (2006年度)	0 件
		現状値 (2003年度)	0 件

<b>基本事業 3-2-2</b>		<b>地域環境保全への貢献</b>	
<b>目的</b>	<b>対象</b>	四日市港の背後地域の環境保全への関与が	
	<b>意図</b>	港湾として循環型社会の実現などに貢献している	
<b>基本事業の 数値目標</b>	リサイクル資源や廃棄物の四日市港への搬出入量	<b>目標値 (2006年度)</b>	97,500 トン
		<b>現状値 (2003年度)</b>	8,595 トン

〔基本事業目標項目の説明〕

- ・ 静脈物流や廃棄物埋立事業のために四日市港に搬出入されたりリサイクル資源及び廃棄物の量

**事務事業(取組)の概要**

<b>1010105 静脈物流の推進(再掲)</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	四日市港におけるリサイクル資源や廃棄物等にかかる取扱が、国が指定したリサイクルポート(総合的な静脈物流拠点港)との海上輸送ルート の構築に向けた取組などにより、より拡大しているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>静脈物流にかかる取扱貨物量</b>  ・ 港湾統計年報におけるリサイクル資源や廃棄物にかか る取扱貨物量	<b>目標値 (2006年度)</b>	10,000 トン
		<b>現状値 (2003年度)</b>	8,595 トン
<b>1010106 石原地区の整備推進(再掲)</b>			
<b>事務事業の 目的 (対象と意図)</b>	石原地区における港湾施設が、四日市港の開発・保全において発生する 浚渫土砂及び地域の産業廃棄物の最終処分場として埋め立てることで、 有効に活用できる港湾用地として整備されているという状態にします。		
<b>事務事業の 数値目標</b>	<b>石原地区における埋立事業の進捗率</b>  ・ 石原地区全体の埋立事業の進捗率(土砂等投入量)。 目標値の93%は浚渫土砂埋立区域の埋立(投入)完了 と産業廃棄物埋立区域(55万㎡)のうち7万㎡を投入 済みの状態を想定した値	<b>目標値 (2006年度)</b>	93%
		<b>現状値 (2003年度)</b>	92%

